



よくまなび よくあそび  
～ 人生を拓く力の育成 ～  
まなび いっぱい  
やさしさ いっぱい  
げんき いっぱい

## 百聞百見は一験に如かず

「『百聞は一見に如かず』というが、『百聞百見は一験に如かず』とも言える。」とは、経営の神様といわれた故・松下幸之助翁がよく語っていたといわれる処世訓です。私もこの言葉が大好きです。

松下翁は、「確かに『百聞は一見に如かず』だが、それだけでは物事の本質をつかむことが出来ない場合がある。経験すれば、何かしら得られるものがあるということが、世の中には少なくない。」とおっしゃっていたそうです。

学習にしても机上だけのものではありません。人との交流や本物との出会い、感動的な体験が、実感を伴った理解になり、思考を深めます。そして、想像力を高め、創造力を培い、心豊かな成長を促します。また、国立青少年教育振興機構が実施した調査では、「自然体験」や「生活体験」が豊富な子どもほど、「自己肯定感」が高い傾向にあると報告をしています。



本校の学区には、市川駅周辺の商店街があり、北越製紙の工場や京葉ガスの本社があります。また、防災公園もあります。江戸川の河川敷があり自然にも恵まれています。そして、労を惜しまず協力をしてくれる地域の方々がたくさんいらっしゃいます。

この恵まれた学区や周辺地域の人材や環境資源を生かし、コロナ禍であっても、町たんけん、市内探訪、米作り、サツマイモ栽培、虫取り、昔あそび、お琴クラブ、縄文体験、芸術鑑賞会など、体験重視の学習を続けてきました。

「本物を見てみよう」「本物に触れてみよう」「実際に体験してみよう」と、学びの中に「体験活動」をたくさん取り入れていることは、大洲小学校の特色のある取り組みの一つだと思います。



「一験」することを大切にしていた松下翁は、「知っていても実行しなければ知らないことと同じ。」とも説いています。未来を生きていく子どもたちには、様々なことに挑戦する勇気と実行力をもってほしいと願っています。

話は変わりますが、「親の心子知らず」といいます。親の愛情や苦労は、子どもにはなかなかわかってもらえないようです。将来、親を「経験」して、ようやく受けた愛情や苦労の大きさを実感するのかもしれませんが。自分もそうです。まさに「一験に如かず」です。

でも、「経験」していても時とともに忘れてしまうことがあるのも事実。

「大人は誰もはじめは子どもだった。しかし、そのことを忘れずにいる大人は、いくらもない」（サン・テグジュペリ）

子どもの心に寄り添い、気持ちを受け止めてあげるためにも、子どもの頃の価値観や感性を思い出してみることはとても大切なことです。

## 学校経営の方針について（2）

11月号につづき「学校経営方針」の概要を示します。振り返りをしたうえで、「令和4年度 学校経営方針」を策定させていただきます。

### 学校経営の重点



#### <まなびいっぱい> ～ 確かな学力の育成

##### ○ 基本を大切にする

小学校でのつまずきは、卒業後まで影響します。日々の授業を大切にし、一人一人の学習状況に応じた指導をするため、算数では少人数授業を実施しています。また、定着させるために、反復練習が必要なものもあります。本校では、低・中・高学年別に「家庭学習手引き」を配付し、ご家庭との共通理解を図っています。

##### ○ 「体験」を重視する

学習は机上だけではできません。人との交流や自然体験など、本物との出会いが実感を伴った理解になり、思考を深めます。表現力、想像力、創造力を高めます。

#### <やさしさいっぱい> ～ 一人一人を大切にし、豊かな心を育む

##### ○ あいさつ、マナーを徹底する

あいさつは人としての基本です。すべての子どもが自分からあいさつできるようになってもらいたいと思います。あいさつは毎日の積み重ねでしか身につけません。マナーも大切です。周りへの気遣いや感謝の気持ちを、言葉や行動で表すことができる子どもに成長してほしいと思っています。あいさつやマナーの指導は学校でも行いますが、ご家庭の役割が大きいと思っています。学校とご家庭との連携が求められます。

##### ○ 人にやさしく自分にきびしく

「人権」は「安全」とともに、すべてに優先します。互いの良さを認め合えるような学級づくりに努め、やさしさや人を思いやる心を育みます。そのために、感動体験を取り入れ、道徳の授業の充実を図ります。一方、辛いことでも笑顔で乗り越えることができる強い子どもになってほしいと思います。自分に対するきびしさは、困難なことに挑戦し克服する経験の中で育まれます。子どもが挑戦し、達成感を味わえるような機会をたくさんつくっていきます。

#### <げんきいっぱい> ～ 健やかな体の育成

##### ○ 体を鍛える

学力を身につけるためには、集中力、持続力、忍耐力が必要になってきます。これらの力は体力と無関係ではありません。本校では、体育の授業の充実を図り、運動量の確保や様々な運動経験をさせるよう努めます。また、外遊びを推奨します。長縄大会などの行事を推進し、子どもたちが進んで運動に取り組む機会をつくれます。

##### ○ 基本的な生活習慣と病気やけがの予防

「自分の身体は自分で守る」力を身につけさせるため、危機管理能力の育成に力を入れます。また、放送委員が「健康の基本は、早寝早起き朝ごはん」と呼びかけをしていますが、まったくその通りだと思います。食育を含め、基本的な生活習慣を身につけさせるためには、ご家庭との連携が求められます。